

変わらぬまちや変わらぬい! 小都市議会通信

公明党

まさみつ NEWS



田中まさみつ

希望ヶ丘4丁目3-2
連絡先 090-0721-7155

masa-tnk2@ezweb.ne.jp

市民相談はお気軽に声かけてください！

新たな地域

会員登録

皆様、いつもお世話になります。昨年は、日本にとって大きな試練の年となりました。東日本大震災や台風災害において犠牲となられた方々、未だ行方不明の方、生活圏を奪われ避難生活を余儀なくされている方々に対し衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、新年を迎え、全国各地から希望あふれる声が、メディアを通じ聞こえてまいります。特に悲哀を乗り越え立ち上がっていくとする被災地からの希望

の声は、私たちに改めて勇気と力を与えてくれます。今、大難を乗り越え、日本が立ち上がりいく姿を世界中が見守っています。被災地の方々に負けないとうに、今、自分にできるとを精一杯に取り組んでいきたいと思っています。政局はまだまだ、不安定な状況ですが、国民生活を守るうえで、社会保障や経済状況はもう、待ったなしの時期に来ています。政治が見えるところで議論をしていくことが肝要です。

新たな地域自治とは？

昨年4月に制定された小郡市第5次総合振興計画に「新たな地域自治」を目指していくことが盛り込まれました。概要は、希薄化していく地域コミュニティの再生と、地方分権を見据えた自治意識の高い組織作りを行うため、小学校校区を単位とした地域連絡協議会を作り、その協議会を中心にして新たな市民主体のま

ちづくりの実現を目指すものであります。

取り上げた問題は、昨年制定された小郡市第5次総合振興計画に新しく盛り込まれた「新たな地域自治」と、こども読書活動の推進について尋ねました。地域自治のあり方については、21年6月と22年3月にも質問しましたが、再度、疑問点を尋ね直しました。

21年度の質問では、市長ミニフェストに掲げられたコミュニティ分権の具体的な進め方について市長の考え方を尋ねました。内容は、主

す。コミュニティ分権を具体的にマスタートープランへ位置づけることと、小郡市の行政事務委嘱による区長制度のありかたなどを尋ねました。この時点では、まだおぼろげな状態で、市長の答弁では「そうしたマスタートープランに織り込む」というものより、コミュニティ分権の仕組みや形をどういうものにしていくのか、まず、調査研究を行っていかなければと思つてている」との答弁でした。

部長に質問しています。この時点でも、「総務課を中心にして組織横断的な府内検討会議を設置して、新たな地域自治のあり方について研究、検討を開始した」との答弁でした。また、行政委嘱制度の見直しについては、「区長の業務を軽減するという意味も含めて、業務を把握をするところから始めて、業務の見直しをしていきたいと思っていました」との、ことでした。



いよいよ、これから本格的に小郡市の将来を創る、新しい地域自治、そのシステムが構築されていきます。

今回の質問では、そのコミュニティ分権のまちづくりが目指すものは何かについて、市長の考えを尋ねました。

いよいよ、これから本格的に小都市の将来を創る、新しい地域自治、そのシステムが構築されていきます。今回の質問では、そのコミュニティ分権のまちづくりが目指すものは何かについて、市長の考えを尋ねました。

これまでの議会質問で取り上げてきた地域自治のあり方は、全国的な課題であり、多くの自治体においてもさまざまなもの取り組みが行われています。市が行つてきたこれまでの地域づくりは、行政区の長へ市の事務を委嘱し地域の取りまとめ役として深いかかわりを持ちながら進んできました。この制度は行政事務委嘱者（区長）を地域に置くことでスマートに事業が行えるというメリットがあり行政にとっては負担の少ない運営ができます。しかし、業務の調整をする部署がなく、行政側も事務委嘱者に頼ってこれまでそれぞれの分野の部局より事務依頼が続いてきました。その結果、区長へ多くの充て職が増え、区独自の業務と平行して市の行事などへの参加が増え続け、負担感がピークに達しています。このような制度は全国的にも少数の制度であり、他の自治体においても見直しが進んでいます。

子供読書の推進



り組みは、こうした行政との関係を見直し、自治意識の高い住民組織を目指し行政と対等のパートナーシップを築いて行くことになります。これから創る小都市の制度は将来の形を決める重要な取り組みです。多くの市民の皆様に参加していただきたいと思います。

始まりました。小都市も17年から5年間の第1次子ども読書活動の推進に取り組んできました。今年度からは、市長マニフェストに掲げられた「読書のまちづくり日本」を目指すことが盛り込まれ、昨年、第2次計画がスタートしています。

子どもたちにとっての読書は、将来を決定づける大きな夢を与えたり、無限に広がる想像力や適切な判断力を養う大切な役割を担います。特に最近取り組まれている「家読の推進」は親子のかかわりや子供の読書習慣を身につけさせる大変有効な施策だと思います。

今回は、その「家読の推進」と、親子で利用できるよう、「学校図書館の一般開放」を訴えさせていただきました。私も昨年から小学校の読み聞かせスタッフに登録して絵本を読んでいますが、子供たちの笑顔をとても心地よく感じています。本を読むことを勧めるだけでなく大人が最大限努力し、子どもの読書環境を整えていくことが大切だと思います。

議会のインターネット生中継が視聴できます

小郡市議会では、議会改革の一環として情報公開を目的とした本会議場のインターネット中継を昨年9月議会から始めました。ご自宅のパソコンから小郡市のホームページ経由で本会議の様子が閲覧できます。

議員ごとの録画検索も出来ます！
是非、田中まさみつで検索してみてください！

The screenshot shows the homepage of the City of Kita-ku, Sapporo's website. At the top right, there is a news feed with several items:

- 04/12(木)・朝日新聞デジタル記事・都市比較分析表: 平成21年
- 04/08(土)・北海道(3月度)の本税率(%)の入選市の日々の
- 04/06(木)・小田・財務課・予算部から予算方針を公表
- 04/06(木)・集中化委員会による北海道の仕事(標準仕事)
- 03/30(水)・市長答問・政策監査報告(平成21年度)
- 03/29(火)・環境文化取組企画等の一部についてを整備する
- 03/27(日)・保護地としての区域(月次)を掲載しました。(緑地)
- 03/26(土)・税の問題とお知らせ(水道賃)

A green button labeled "新着情報" (New Information) is located at the bottom right of the news feed.

In the center, there is a section titled "広報おこあり" (Public Notices) with a purple background. It contains two items:

- 市議会 (with a green button labeled "議会センター・本小中社")
- 小郡小中人口 (平成23年3月31日現在)
59,134人 (with a large yellow hand cursor icon pointing at it)

To the right of the notices, there is a "くらしの情報 (分野から)" (Living Information (by category)) section with a purple background, listing various categories with icons:

住民票・印鑑・戸籍	健康・医療	小売販賣	財政
社会保険・年金	福祉・介護	丁寧な	元気
教育・生涯学習・文	子育て	おもひ	元気
住まい・環境・み	各種申請	おもひ	元気
文化・芸術・観光			

A blue button labeled "公共施設" (Public Facilities) is located at the bottom right of this section.

トップページの
議会インターネット中継をクリック！

録画中継

各項目から検索してください